

委託事業実施内容報告書

平成22年度「生活者としての外国人」のための日本語教育事業

【日本語指導者養成】

受託団体名 特定非営利活動法人トツカビ

1 事業の趣旨・目的

八尾市には、50カ国約6,900人の外国籍市民が生活しており、その大半を韓国・朝鮮籍で占めているが、80年代より増えてきた中国、ベトナム籍者が年々増加し、日本語コミュニケーションの問題が顕著化してきている。そこで、外国人就労支援のための日本語教室の開講をめざして、その教室の日本語指導者を養成するための講座を実施する。

2 企画委員会の開催について

【概要】

開催日時	開催場所	出席者	議題	会議の概要
6月18日	特定非営利活動法人トツカビ	朴洋幸 藤本伸樹 野中モニカ 上出仁美 高橋佳代子	委託事業の説明 講座内容の検討(概要)	委託事業の趣旨説明と講座内容の概要を説明、各委員の自己紹介
7月12日	八尾市人権協会	朴洋幸 藤本伸樹 野中モニカ 上出仁美 高橋佳代子	講座内容の検討(詳細) 募集案内、募集方法について	講座内容の詳細を確認し、募集案内や募集方法についての助言を得る
11月17日	八尾市人権協会	朴洋幸 藤本伸樹 野中モニカ 上出仁美 高橋佳代子	講座の総括	各講座内容、参加者プロフィール、講座の課題などを説明
12月28日	特定非営利活動法人トツカビ	朴洋幸 藤本伸樹 野中モニカ 上出仁美 高橋佳代子	報告書案について	今後の課題及び報告書案について

【写真】



3 養成講座の内容について

- (1) 養成講座名 外国人市民の就労支援のための日本語指導者養成講座
- (2) 養成講座の目標 外国人市民の就労支援のための日本語教室で、日本語指導者として必要なスキルを身につける
- (3) 受講者の総数 19人/回(延べ人数ではなく、受講した人数を記載すること。)
- (4) 開催時間数(回数)40時間 (10回)
- (5) 参加対象者の要件 退職教員や日本語指導に興味を持つ市民
- (6) 受講者の募集方法

- ①トッカビ会員へ郵送案内
- ②八尾市教職員組合に依頼し、特に退職者教員及び現在日本語指導を行っている教員へ案内
- ③財団法人八尾市国際交流センター、にほんごねっとわーくYAO、東大阪市教育委員会、東大阪市国際交流協会、特定非営利活動法人東大阪日本語教室、柏原市教育委員会社会教育課、財団法人大阪府国際交流財団、八尾市教育委員会へチラシの配布及び配架
- ④一般財団法人八尾市人権協会、財団法人大阪府国際交流財団へはHPへ講座案内の掲載
- ⑤毎日新聞掲載

(7) 研修会場 八尾市立安中人権コミュニティセンター(八尾市安中町 8-5-30)

(8) 使用した教材・リソース:各講師の作成したレジュメ、資料

(9) 講座内容

日時	講座名／学習内容	講師	受講者数
9月4日(土) 9:00-13:00	・開講式 ・オリエンテーション ・異文化体験・異文化コミュニケーションワークショップ	・ 近畿大学講師(異文化コミュニケーション・トレーナー) 富岡美知子 ・ 京都外国語大学講師 野中モニカ	19名
9月12日(土) 9:00-13:00	・日本に住む外国人市民についての基礎知識、全国・府内・市内の外国人市民事業、 ・フィールドワーク(本会事務所周辺見学、ベトナム語教室見学及びベトナム料理体験)	・ (財)アジア・太平洋人権情報センター 研究員、藤本伸樹 ・ 特定非営利活動法人トッカビ代表 朴洋幸	17名
9月17日(木) 10:00-14:00	・日本語支援と就労支援 フィールドワーク 財団法人とよなか国際交流協会のとりくみ(仕事につながる日本語)	・ 財団法人とよなか国際交流協会 ・ 京都外国語大学講師、 野中モニカ	7名

9月19日(日) 10:00-14:00	・ボランティアと日本語支援、フィールドワーク(にほんごネットワークYAO)	・ にほんごネットワークYAO 代表、吉田知子	9名
10月2日(土) 9:00-13:00	・日本語支援:支援者と学習者の立場から	・ 難波地域日本語教室 木戸真美子 ・ そのだ日本語サロン 小山泰子 ・ 八尾市日中友好を進める会 下岡 純子 ・ 京都外国語大学講師 野中モニカ	13人
10月9日(土) 9:00-13:00	・成人の第二言語教育の理念と理論	・ 大阪大学大学院文学研究科 教授、青木直子	9人
10月16日(土) 9:00-13:00	・「日本語ポートフォリオ」と自己主導型学習	・ 近大姫路大学教育学部講師 吉田晃高	11人
10月23日(土) 9:00-13:00	・日本語教室での学習活動	・ 兵庫ボランティアネットワーク 尾形文	13人
10月28日(木) 10:00-14:00	・外国人市民の就労支援に向けて ハローワークの仕組み 地域就労支援について	・ ハローワーク布施事業部 事業部長、長谷川雅一 ・ 八尾市地域就労相談員 笠原辰司	7人
11月6日(土) 9:00-13:00	・今後の活動について ・修了式	・ 京都外国語大学講師 野中モニカ ・ 特定非営利活動法人トッカビ 副代表、鄭栄鎮	14人

(10) 講座の評価

アンケート(実施日 2010年11月6日)

全講座をふり返ってお答えください。

・開催時期 良い 1 特に問題ない 8
 悪い 1

できれば3連休はさけていただけると助かります。

- ・開催時間 良い 2 特に問題ない 5
 悪い 1

少し朝が早い。遠くから来る人もいるし休日ですので次回は平日の昼だと参加しやすいです

講座内容について

- ・ 内容が少し難しいと感じました。勉強になることもありましたが、日本語の上手な教え方やコツなど具体的に学習者へ関わるためのノウハウも教えていただきました。豊中の国際交流センターの見学。日本に住む外国人のお話を聞くことができとても役立ちました
- ・ どの講座も教育委員会などの研修などでは聞けない内容で、在日外国人の置かれている現実、日本語に対する考えと現実が理解でき視野が広がりました。
- ・ どの講座も充実していて楽しく学ぶことができました。日本語指導のハウトウを教えてもらうのかなぐらいに思っていたのですが、それにかかわるための心構え、理念や在日外国人の就労状況など様々な角度からの講座内容で良かったです。異文化体験のワークショップは、異文化コミュニケーションの難しさを納得することができました。青木さんの成人の第2言語教育で日本語学習支援に必要な発達の転換のお話も印象に残りました。
- ・ 日程が合わずお休みさせていただくことも多かったです。日本に住む外国人のことや日本語教師について様々な側面から勉強できました。「日本語 100%」って何なのかということが印象的でした。また外国人のPOP (Pride、Opinion、Privacy)を尊重するということが印象に残っています。
- ・ 全体的に内容が濃く、充実していたと思います。教授法を学習する以外に様々な視点から考える必要があることがわかりました。今後参考にできる要素が沢山ありました。すばらしい講座をありがとうございました。
- ・ 幅広く、日本語指導法から日本語支援を必要としている方のバックグラウンドが様々であることまで各講座でバラエティがあって良かった。
- ・ やはり一回目の「わからない」・「言えない」つらさの体験です。
- ・ 私にとっては青木先生の日本語ポートフォリオによる日本語力の把握方法について興味を持ってました。生徒の日本語力をどう把握すればよいか悩んでいたのですが、参考になりました。

その他(ご意見・ご感想に加えて、改善点などもお書き下さい)

- ・ 講義だけにならずいろいろなワークを取り入れてもらって楽しい講座でした、ただ今回の10回の講座内容ならもう少し少ない回数でもおさめられたのではないかと思った(往復1回 840 円の交通費がかかりました)。それでも指導法みたいな講義、実践も一度くらいは体験してみたかったです
- ・ もう少し交通の便の良い場所が会場だったら行きやすかったかなと思いました。また時間帯も

午前だけでなく、日によっては午後や夜間も設定されていると参加しやすいです。

- ・ また機会があればこのような講座に参加させていただきたいと思います。ありがとうございました。
- ・ 働いているので平日の講座が受講できず残念でした。
- ・ フィールド、座学の双方が組み込まれた内容となっており実践に活かせるものが多くよかったです。
- ・ 残念な点は、ハローワークの回で、スケジュールでは「知っておくべき雇用の仕組み、ルール、ビジネスマナー」とありましたので実際に雇用者と外国人就労希望者を取り持つ立場の方の生の声を聞けるかとかなり期待していたのですがパンフレットにある内容程度のことしか聞けずがっかりしました。就労コーディネーターの方の話で少し現場の声を聞いてよかったです。今回は都合があいませんが、何かの機会に参加できたらいいと思います。

① 実施主体からの研修内容結果評価

- ・ 外国人市民もしくは日本語教室を経験している外国人市民から直接話を聴く機会を設けたので、受講者達が、自分の想像するイメージとの違いを認識できた。
- ・ 体験型ワークショップを取り入れることにより、外国人市民の気持ち等を疑似体験できた。
- ・ 「学習者のための日本語指導を行う」ことはどのようなことかについての理論・実践を学ぶことができた。
- ・ 外国人市民の就労に関する問題点などを専門家から話を聴くことにより、日本人との違いを認識できたこと、また求職活動などに対する知識がついたこと。
- ・ 公共機関へのフィールドワークは、平日しか開催できなかったため参加者が少なかったことと、もう少しビジネスマナーについても知られるようにすれば良かった。
- ・ 日本語教授法の実践を学ぶ時間をもう少し多くとれば良かった。

② 実施主体からの外国人支援体制等今後の計画

- ・ 今回は八尾市外からの参加が多かったため、その受講者が暮らす地域で行われている様々な外国人支援(日本語支援など)の情報を出来るだけ多く提供することに努める。
- ・ 指導者養成講座に参加した受講者を対象に、引き続きさらにステップアップ(例えば次回には実践に重点を置いた講座など)できるような講座を企画していくと同時に外国人市民の状況も伝えていく活動を行う。

(11) 事業の成果

① 他事業との連携

大阪府内、特に八尾市内で活動している日本語教室との情報交換・交流(各教室の状況を把握することや教室活動の作り方など)がはかれた。

八尾市内で開催されている各種相談事業(特に外国人市民に対して)との連携

② 研修後の人材活用

受講者が暮らす地域での、日本語教室への参加を促す

当会で開催する日本語教室でのボランティアとして参加を促す

(12) 今後の課題

- ・ 受講者が参加しやすい日時に設定し、全回受講できるような工夫を行う。
- ・ 講座に参加した受講者が、講座修了後、活動できる場所を提供できるようなシステムをつくる。
- ・ 日本語指導者のみならず、地域での活動に積極的に参加できるようなネットワークを形成する。